

## 平成21年12月の地震活動及び火山活動について

### ○ [地震活動]

伊豆半島東方沖の地震活動に伴い、12月17日23時45分及び12月18日08時45分にそれぞれM5.0とM5.1の地震が発生し、共に静岡県伊東市で最大震度5弱を観測しました。国土地理院のGPS観測結果では、この地震活動に伴う地殻変動が見られます。

全国で震度1以上を観測した地震の回数は379回、日本及びその周辺におけるM4.0以上の地震の回数は79回でした。

震度3以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙1のとおりです。また、世界の主な地震は別紙2のとおりです。

### ○ [火山活動]

桜島の昭和火口では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生するなど、噴火活動のやや高まった状態が続いています。引き続き、昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。桜島では、火口周辺警戒（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

浅間山では、火山性地震がやや多い状態で推移しています。火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、小規模な噴火が断続的に発生しました。火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙3のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙4のとおりです。

注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注2：国土地理院のGPSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成21年12月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2010-goudou0108.html>

注3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成21年12月号(平成22年1月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定)をご覧ください。

注5：平成22年1月の地震活動及び火山活動については、平成22年2月5日に発表の予定です。